

特別展 伊勢物語 絵になる男の一代記

開催記念講演会のお知らせ

特別展「伊勢物語 絵になる男の一代記」開催を記念し、講演会を実施します。古くより絵巻や色紙絵としても親しまれてきた『伊勢物語』と『源氏物語』。「絵」としての二つの作品は、どのように楽しまれ、広がっていったのでしょうか。現在も刊行が続く世界最古の美術雑誌『国華』の主幹であり、やまと絵研究で知られる佐野みどり学習院大学名誉教授を講師に迎え、それぞれの造形について詳しくお話しいただきます。ぜひとも貴媒体にてご紹介いただきたく、ご案内申し上げます。

講 師

さ の 佐野 みどり氏（國華主幹）

「伊勢絵と源氏絵 ー近世の古典享受をめぐるー」

2022 年 10 月 29 日（土）14:00 ～ 15:30（受付開始 13:30）

かたや実在の雅男（みやびお）在原業平、かたや物語史上最強ともいふべき麗しの貴公子 光源氏。『伊勢物語』と『源氏物語』は、短編歌物語の集成、三世代にわたる大河小説という結構、失意の生涯と宿世に惑い続ける生涯など、その対照性が相互を光り輝かせてきたように思われる。屏風や絵巻からカルタにいたる多様な形態の絵画化作品、蒔絵や染織の意匠など、『伊勢物語』と『源氏物語』は、やまとことばの文芸として後世に多くの影響を与えつづけた古典の中核であった。だが、近世の造形や二次創作文芸を見るに、伊勢好みと源氏好みといった愛着の違いが感じられる。造形に絞って、近世における『伊勢物語』と『源氏物語』の享受を眺めていきたい。（佐野）

【会 場】 中之島会館（中之島香雪美術館隣）

【参加料】 500 円（展覧会観覧ご希望の方は、別途入館券が必要です）

【定 員】 120 名（予定）

【お問い合わせ】 中之島香雪美術館 広報事務局

〒530-0005 大阪市北区中之島 3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト 4 階

TEL 06-6210-3633 FAX 06-6210-4190 E-mail: n-kouhou@kosetsu-museum.or.jp



伊勢物語図色紙 第四十九段「若草の妹」
南北朝時代 14 世紀
香雪美術館



重要文化財 盛安本源氏物語絵巻 末摘花巻上(部分) 江戸時代 17 世紀 石山寺

中之島 香雪美術館

Nakanoshima Kosetsu Museum of Art